

CSI 委託事業 海外出張報告書

平成22年 3月15日

出張者所属：千葉大学情報部

出張者職名：学術情報課専門職員

出張者氏名：森 一郎

下記の通り報告いたします。

期 間	平成22年 1月28日 ～ 平成22年 2月 2日
出張目的	ROAT プロジェクトの広報とヨーロッパにおけるアクセスログ統計に関する情報収集
用 務 先	① ザールブリュッケン・ドイツ ② パリ・フランス
用務内容	① ROAT プロジェクトの広報とドイツにおけるアクセスログ統計に関する情報収集 Ulrich Herb 氏 (Universitat des Saarlandes) Matthias Muller 氏 (Universitat des Saarlandes) ② ROAT プロジェクトの広報とフランスにおけるアクセスログ統計に関する情報収集 Joachim Schopfel 氏 (Universite Lille 3) Cherifa Boukacem-Zeghmouri 氏 (Universite Lille 3) Hekene Prost 氏 (Centre National de la Recherche Scientifique)
出張成果	① ROAT プロジェクトについて概説した後、ドイツにおけるアクセスログ統計について説明を受けた。 ザールラント大学やゲッチンゲン大学などが参加している Open-Access-Statistik では、COUNTER に準拠した統計処理結果だけではなく、IFABC, LogEc に準拠した統計処理結果が得られる仕組みが用意されている。また、IP アドレスだけではなく cookie を用いて利用者を特定する試みも行われていることや、本文ファイルを分析し、別々の機関のリポジトリに登録されている同一の論文へのアクセスを統合するための試みも行われている。 ROAT が COUNTER 準拠の統計処理のみであることや、IP アドレスでのみ利用者を特定していることを考えると、参考にすべき点が多い。 先方からは、ROAT が持つ参加機関が共同で検索ロボット等によるアクセスをリスト化できる仕組みに興味を示され、今後、連携を深め、継続して意見交換することを確認した。 ② ROAT プロジェクトについて概説した後、フランスにおけるアクセスログ統計について説明を受けた。 フランスでは、Hyper Article en Ligne (HAL) が運用する共同リポジトリ型のリポジトリ、HAL にメタデータ、本文ファイルともハーベストさせるリポジトリ、基本的に HAL とは関係を持たない独立型のリポジトリが存在するが、まだ相互比較が可能な環境が整っておらず、リール第3大学などによって、用語の定義の統一が行われている段階であるとのことである。 定義された用語の多言語化が計画されており、今後、連携を深めることを確認した。

【注意事項】

(1) 用務内容記載について詳細は「海外出張報告書提出に関する留意事項」参照のこと。

(2) 別途資料がある場合はあわせて添付すること。